

科目名	農業経営(基礎)	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	教務課:吾郷、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)山口県農業に関する基礎的な学修 (2)一般的な会社経営に係る基礎知識の学修 (3)農業経営実践者から、農業経営の内容や管理方法等を聞き取り					
身に付ける力	農業経営に関する基礎的な知識					
到達目標	(1)山口県農業に関する情勢等を理解する。 (2)農業経営や農業法人等に関する基本的な内容を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数			
	1 1 農業を巡る情勢について					
	2 (1)山口県農業の概要	2				
	3 2 農業経営の基礎					
	4 (1)農業に関連する基礎知識	1				
	5 (2)農業経営のしくみ	2				
	6 (3)農業経営の理念や目標	2				
	7 (4)農業経営管理	2	担当者 外部講師			
	8 3 農業法人等の取組みについて					
	9 (1)農業経営の法人化	2				
	10 (2)農業法人の経営実践	2				
	11 (3)会社経営(農業以外)	1				
	12 定期考查	1				
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業経営(応用)	開講時期	2年生通年
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間
担当者名	教務課:吾郷、外部講師	単位数	1 単位
科目の概要	(1)農業経営に関する基礎的な知識の学修 (2)農業経営実践者から、農業経営の内容や管理方法等を聞き取り (3)農業経営に必要な実務的な学修		
身に付ける力	農業経営に関する実践的な知識		
到達目標	(1)農業経営者の話を聞くことで就農に向けた意欲を高める。 (2)農業経営に必要な考え方やものの見方を知る。 (3)農業経営に取り組む上での注意点等を知る。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1 1 農業経営管理について		
	2 (1)農業経営における経営者の役割	2	
	3 (2)農業経営管理の考え方	2	
	4 (3)財務諸表の見方等	2	
	5 2 農業経営の現状について		
	6 (1)集落営農法人の取組み	2	担当者 外部講師
	7 (2)先進的な農業経営の取組み	4	
	8 (3)会社経営	2	
	9 定期考查	1	
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70
	レポート		実技テスト 発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表・態	30
			研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業簿記	開講時期	2年通年
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	30 時間
担当者名	就技室・原	単位数	2 単位
科目の概要	農業経営に必要な簿記、会計の基礎的な知識の学修		
身に付ける力	(1)農業経営体における会計の必要性と複式簿記の基礎理論を理解する。 (2)演習を通じて農業簿記の基礎知識と記帳技術を習得させる。		
到達目標	(1)貸借対照表と損益計算書の構成と内容を理解する。 (2)日常の記帳事務、決算処理事務を習得する。 (農業簿記検定3級を取得できる程度の知識を習得する。受験は任意)		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	農業会計の特徴と必要性	1
	2	貸借対照表と損益計算書	2
	3	仕訳の意味と方法	6
	4	減価償却費資産の意味と記帳	6
	5	記帳方法(仕訳伝票、元帳)	4
	6	残高試算表の意味と記帳	2
	7	決算処理と決算書の作成	7
	8	定期考查(前後期)	2
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
テキスト・副教材	農業簿記検定教科書3級 全国農業会議所		
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技・思・判・表	80
	レポート		発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表・態	20
			研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業政策概論	開講時期	1・2年生 前期			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術、経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	福田副校長、外部講師	単位数	1 単位			
科目的概要	(1)農業政策の意義や内容に関する学修 (2)農業経営の現状に関する学修 (3)農業担い手に関する支援策の概要					
身に付ける力	農業政策の意義や内容の理解と県内農業の現状の理解					
到達目標	(1)農業政策の意義や内容を理解する (2)農業経営の現状を理解する (3)農業担い手に関する支援策を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数			
	1	農業政策の意義と内容	3			
	2	県農業の情勢と各種施策(有機農業施策)	2			
	3	県農業の情勢と各種施策(担い手・農産施策)	2			
	4	県農業の情勢と各種施策(中山間・需要拡大施策)	2			
	5	担い手組織における各種施策の展開とその効果	2			
	6	県農業情勢と試験研究	2			
	7	食料・農業・農村をめぐる情勢と今後の課題	2			
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業機械演習	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	80 時間			
担当者名	教務課:松永、就技室:片山、外部講師	単位数	4 単位			
科目の概要	(1)農業機械の構造、基本的な操作方法の学修 (2)農業機械の公道走行の学修					
身に付ける力	農業機械に関する基礎的な知識と操作技術					
到達目標	(1)農作業安全に係る知識・技術を習得する。 (2)農業機械の保守管理に関する知識・技術を習得する。 (3)農業機械の基本的な操作方法に関する知識・技術を習得する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1 農作業安全について(講義)		2			
	2 燃料の取扱い(講義)		2			
	3 エンジンの構造と分解・組立		6			
	4 刈払機の安全使用と保守管理(講義・演習)		2			
	5 動力運搬車の安全使用と保守管理(講義・演習)		2	担当者 外部講師		
	6 工具の取扱い(講義・演習)		2			
	7 農業機械の公道走行(講義・演習)		40			
	8 作業機操作の基本(講義・演習)		10			
	9 最新機械等農業機械(専攻別)の安全使用(講義・演習)		13			
	10 定期考查		1			
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材	農業機械士技能検定試験テキスト (社)日本農業機械化協会					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70	実技テスト	知・技	
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業機械演習	開講時期	2年生通年
		授業の形態	演習
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	20 時間
担当者名	教務課:松永、就技室:片山、外部講師	単位数	1 単位
科目の概要	(1)トラクター保守管理に関する学修 (2)作物別に使用する農業機械の保守管理と操作方法に関する学修		
身に付ける力	農業機械の保守管理と操作技術		
到達目標	(1)トラクターの保守管理に関する知識・技術を習得する。 (2)作物別に使用する農業機械の保守管理・操作技術を習得する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	トラクターの保守管理	6
	2	農業機械(専攻別)の保守管理	13
	3	定期考查	1
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	70
	レポート		発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表・態	30
			研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農畜產物流通概論	開講時期	1・2年生後期
		授業の形態	講義
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間
担当者名	園芸課・藤本、農技C研究員、外部講師	単位数	1 単位
科目的概要	農畜產物の流通・市場を取り巻く環境や実態、県施策等に関する基礎的な学修		
身に付ける力	農業経営に必要なマーケティングに関する基礎的な知識		
到達目標	(1)流通の機能と役割、県内の主要作物の流通体系を理解する。 (2)流通に関連する諸制度、法令等を理解する。 (3)流通の今日的課題及び対処方法を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	流通の機能と役割(用語の理解)	2
	2	需要と供給	2
	3	米の流通	2
	4	青果物の流通	2
	5	畜産物の流通	2
	6	食品の安全性と表示	2
	7	マーケティング論	2
	8	定期考查	1
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材	授業ごとに担当者が作成した演習問題を配布します。		
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	60
	レポート	思・判・表	30
	授業・実習態度	思・判・表・態	10

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農畜産物利用演習	開講時期	1年生通年
		授業の形態	演習
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	20 時間
担当者名	教務課:田中、就技室:小林	単位数	1 単位
科目の概要	(1)農畜産物の加工の目的、加工特性に関する基礎的な学修 (2)代表的な農産物加工、畜産物加工の実習		
身に付ける力	農畜産物の基本的な特性を理解し、その加工技術を習得する。		
到達目標	(1)農畜産物の加工の目的、加工特性に関する基礎的な内容を理解する。 (2)代表的な農畜産物加工の方法を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1	農畜産加工の目的	2
	2	加工販売に必要な条件	2
	3	農畜産物の加工特性について	3
	4	加工の実際	
	5	牛乳の加工(1)	2
	6	牛乳の加工(2)	2
	7	食肉加工	2
	8	野菜の加工(1)	2
	9	野菜の加工(2)	2
	10	大豆・麦類の加工	2
	11	定期考查	1
	12		
	13		
	14		
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考查	知・技	60
	レポート	思・判・表	20
	授業・実習態度	態	20

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	作物概論	開講時期	2年生 通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	30 時間			
担当者名	就技室:柴崎、農技C研究員	単位数	2 単位			
科目の概要	土地利用型作物(水稻、麦類、大豆等)の生産と栽培管理技術の学修					
身に付ける力	土地利用型作物(水稻、麦類、大豆等)の生産と栽培管理の基礎的な技術					
到達目標	(1)水稻の生産と栽培管理、水田の土づくり等の知識・技術を習得する。 (2)麦、ダイズ、特用作物の生産と栽培管理の知識・技術を習得する。 (3)水田農業をめぐる新たな動き、新技術等の知識・技術を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1 1 水稻の栽培管理・生育の見方					
	2 (1)生理生態	2				
	3 (2)品種の特性、育種	2				
	4 (3)播種、育苗、田植え、直播	2				
	5 (4)生育診断、本田管理	2				
	6 (5)成熟、収穫、調製	2				
	7 (6)土づくり、米の加工、流通	2				
	8 2 麦類の生産管理と栽培管理					
	9 (1)生理生態、栽培管理、成熟、収穫、調製	2	担当者 農技C研究員			
	(2)成熟、収穫、調製	2				
	10 3 大豆の生産概要と栽培管理					
	11 (1)生理生態、栽培管理	4				
	(2)成熟、収穫、調製	2				
	12 4 水田農業の法人化、交付金の制度	2				
	13 5 スマート農業等	2				
	14 6 農業気象、農薬の使い方等	2				
	15 定期考查	2				
テキスト・副教材	【農学基礎セミナー】新版 作物栽培の基礎 農文協					
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查	知・技	50	実技テスト		
	レポート		50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態		研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	作物栽培演習	開講時期	1年生 通年
		授業の形態	演習
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	20 時間
担当者名	就技室:河村、柴崎、教務課:松永	単位数	1 単位
科目の概要	土地利用型作物(水稻、麦類等)の生産と栽培管理の基礎的な学修		
身に付ける力	土地利用型作物(水稻、麦類等)の生産と栽培管理の基礎的な知識・技術		
到達目標	(1)水稻の生産と栽培管理、水田の土づくり等の知識を習得する。 (2)麦の生産と栽培管理の知識を習得する。 (3)水田での作物栽培の状況や新技術等の知識を理解する。		
授業計画	回	授業内容・方法	時間数
	1 1	水稻の栽培管理・生育の見方	
	2	(1)土づくり・耕耘	2
	3	(2)水稻の栽培管理・播種	2
	4	(3)田植え	2
	5	(4)生育調査・雑草防除	2
	6	(4)幼穂形成期調査	2
	7	(5)出穂期調査	2
	8	(6)成熟期調査	1
	9	(7)収穫	1
	10	(8)収量・品質調査	2
	11 2	麦類の栽培管理・生育の見方	
	12	(1)麦の栽培管理・排水対策	1
	13	(2)播種	2
	14	定期考查	1
テキスト・副教材	【農業基礎セミナー】新版 作物栽培の基礎 農文協		
評価方法	評価方法	観点	割合(%)
	定期考查	知・技	60
	レポート		発表・成果物
	授業・実習態度	思・判・表、態	40
			研修評価

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度